

インターネットにおける
ルール&マナー検定

2005年「春夏」大人版

実施報告書

2005年1月

財団法人 インターネット協会

目次

1 検定概要	1
1.1 検定の目的	1
1.2 実施方法	1
1.3 受検時期	1
1.4 スコアと成績カテゴリ	1
2 検定問題	3
2.1 出題範囲	3
2.2 出題部門と設問分野	3
2.2.1 出題部門	3
2.2.2 設問分野	3
3 検定結果	5
3.1 概要	5
3.1.1 2005年「春夏」版の検定結果	5
3.1.2 これまでの検定結果との比較	6
3.2 詳細	7
3.2.1 受検プロフィール	7
(1) 申込み数の分布	7
(2) 受検のスコア状況とスコア分布	8
(3) 受検の解答所要時間	9
(4) 受検申込みに用いられたメールアドレスのドメイン	10
3.2.2 スコアプロフィール	11
3.2.3 スコア認定証申込み	12
3.2.4 個別の設問への解答状況	12
(1) 設問分野別の正答率	12
(2) 個別設問の高/低正答率	13
4 受検者アンケート	14
4.1 選択式項目への回答結果	14
4.2 自由記述欄への回答内容	19

1 検定概要

1.1 検定の目的

インターネットの急激な普及により利用人口はますます増加する中で、インターネットを使う際のルールやマナーは、ますます重要になってきている。さまざまな人々が安全に、しかも快適にインターネットを利用するためには、技術やサービスの充実だけではなく、各人がルールやマナーを理解し、守ってゆくことが大切である。

インターネット協会では、インターネットを利用するルールやマナーの重要性を広い理解と、安全で快適なインターネット社会の実現を目指している。その一環として、インターネットの利用者1人1人が自らのルールやマナーについての知識を客観的に測定していただくため、これまでの蓄積を基に「インターネットにおけるルール&マナー検定」を実施した。

1.2 実施方法

本検定は、メールアドレスによる受検者認証と、ウェブ上での選択肢問題に対する解答による検定から構成されている。したがって、メールアドレスを持ち、ウェブが閲覧できる環境があれば、誰でもどこからでも受検できる。なお、インターネットにおけるルールやマナーの普及啓発の観点から受検は無料とし、何度でも受検可能であり、解答合わせもできるようになっている。ただし、設問はデータベースからランダムに出題されるので、必ずしも同じ設問であるとは限らないし、設問の選択肢の並び順もランダムに変更される。

1.3 受検時期

2005年5月16日から2005年8月5日までの82日間、サーバ保守などシステムの停止時を除いて、毎日24時間、実施した。

1.4 スコアと成績カテゴリ

2004年「夏版」までの検定では、100問中90問以上の正解を合格としていた。2005年「春夏版」からは、必要とするルール&マナー知識は利用目的によって異なり、必ずしも一般利用者は最初から合格レベルに到達する必要はないとの観点か

ら、合格・不合格ではなく、100問に対するスコア（正答数）に基づき、「カテゴリ」（エキスパート・ビジネスユーザ・一般・ビギナー）を表す方法に変更した。希望者には有料（発行手数料 3,150 円、内消費税 150 円）で、インターネット協会からスコア認定証を発行する。

なお、各スコアによる成績カテゴリは次のとおりである。

スコア	成績カテゴリ
90～100	エキスパート 職場や教育現場で指導的な役割をしている人、または企業のセキュリティ担当者など
70～89	ビジネス インターネットをビジネスや教育現場で利用している人
50～69	一般 家庭や学校などで通常利用する人
49以下	ビギナー インターネット初心者

2 検定問題

2.1 出題範囲

本検定の設問は、次のような資料に基づいて出題した。

- 当協会発行の「インターネットにおけるルール&マナー 公式テキスト」
- インターネット協会による「ルール&マナー集」のシリーズ
- インターネットホットライン連絡協議会などの協会関連の Web サイト
- 国際的なインターネット標準（RFC として IETF が管理しているもの）

2.2 出題部門と設問分野

2.2.1 出題部門

設問は、大きく以下の3つの部門に分かれている。

ルール—インターネットを利用するにあたり、自身を守り、他人に迷惑をかけるためのルールや法律などについて、知っておくべき知識を問う。

マナー—インターネットを利用するにあたり、他人への配慮の観点から知っておくべきマナーに関する知識を問う。

安全利用—インターネットを利用するにあたり、知っておくべきセキュリティに関する基本的な技術知識、対応策について問う。

2.2.2 設問分野

各部門の設問は、以下の8つの分野から、設定された出題比率に従って出題された。

基本事項

インターネットを利用するための基本知識や、インターネットの基本的サービスの利用方法について出題する。

電子メール

電子メールの基礎知識やノウハウ、電子メールにおけるルールとマナーなどの知識を問う。また、迷惑メールに関連する事項も出題する。

コミュニケーション

掲示板やリアルタイムチャットなどのコミュニケーションに関するルールやマナーを問う。

ウェブページによる情報発信

自分がウェブを使って情報を発信したり、サービスを提供したりする場合に知っておくべきルールやマナーを問う。

ウェブページによるサービスの利用

ウェブを利用して提供される通信販売、オークション、情報サービスの利用などに関する知識を問う。加えて、電子政府・電子自治体への手続きについても出題する。

関連法規

情報化時代に対応するために多くの法律が施行されている。インターネットを利用する上で知っておきたいそれらの法律についての知識を問う。

基礎技術

インターネット利用におけるコンピュータ、ネットワーク、ソフトウェアについての基礎的な技術知識を問う。

最新トピックス

インターネットに関連する、最新の技術や法律、サービスなどについての知識を問う。

3 検定結果

3.1 概要

3.1.1 2005年「春夏」版の検定結果

2005年「春夏」版の主な検定結果を表3-1に示す。

表3-1 2005年「春夏」版の主な検定結果

項目	2005年 「春夏」版
受検申込総数	5,636件
実受検総数	5,246件
答案提出数	3,577件
答案提出率	68.2%
答案未提出率	31.8%
平均点	61.8点
平均解答所要時間	1時間12分21秒
受検メールアドレス総数	4,247件
スコア認定証申込数	125件
スコア認定証申込率	3.5%
実施日数	82日

3.1.2 これまでの検定結果との比較

2005年春夏版の検定結果と、これまでの検定結果を比較した一覧表を表3-2に示す。

表3-2 これまでの検定結果との比較

項目	2003年 「夏」版	2003年 「秋冬」版	2004年 「春」版	2004年 「夏」版	2005年 「春夏」版
受検申込総数	18,654件	4,260件	3,899件	10,091件	5,636件
実受検総数	17,779件	4,020件	3,702件	9,512件	5,246件
答案提出数	13,992件	3,248件	2,754件	6,346件	3,577件
答案提出率	78.7%	80.8%	74.4%	66.7%	68.2%
答案未提出率	21.3%	19.2%	25.6%	33.3%	31.8%
平均点	82.5点	75.5点	76.0点	76.8点	61.8点
受検メールアドレス 総数	15,475件	3,304件	2,967件	8,405件	4,247件
合格数	4,196件	626件	674件	1,284件	-
合格率	30.0%	19.3%	24.5%	20.2%	-
合格証申込数	978件	305件	400件	378件	-
合格証申込率	23.3%	48.7%	59.3%	29.4%	-
スコア認定証申込数	-	-	-	-	125件
スコア認定証申込率	-	-	-	-	3.5%
実施日数	42日	33日	33日	32日	82日

3.2 詳細

3.2.1 受検プロフィール

(1) 申込み数の分布

図 3-1 に、検定開催中の 1 日ごとの受検申込み数分布を示す（受検申込み総数 5,636 件の分布）。なお、6 月 23 日の受検申込み数が多くなっているのは、6 月 23 日の夕方に、テレビのニュース番組で本検定が紹介されたことが影響していると考えられる。

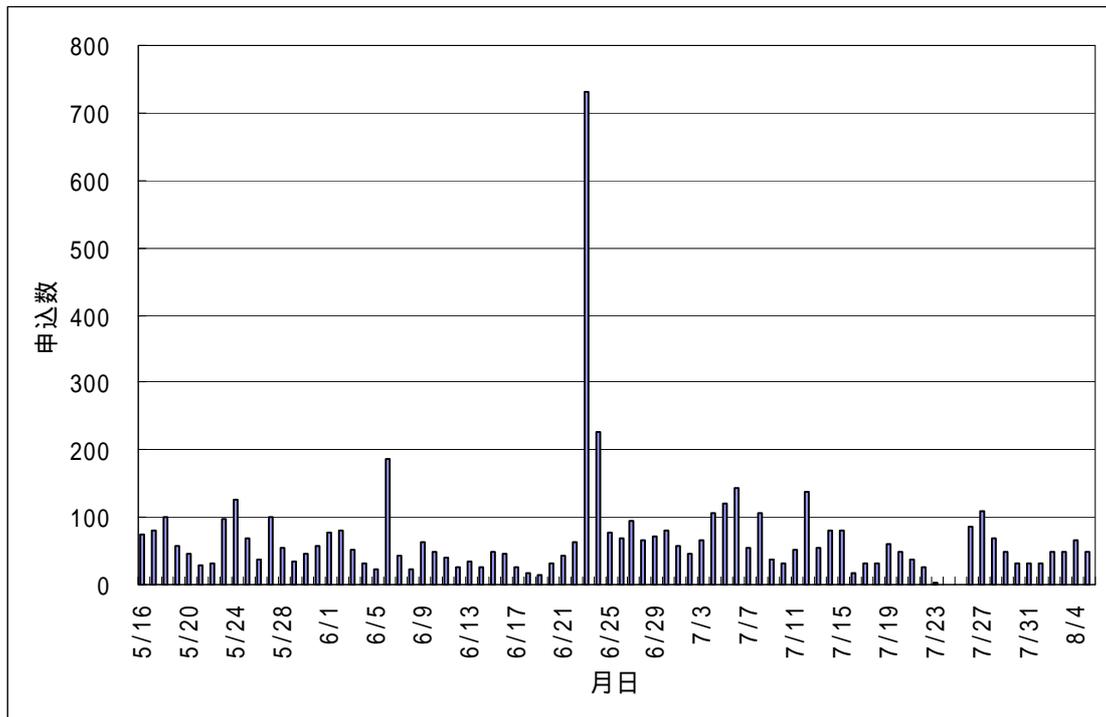


図 3-1 申込み数分布

(2) 受検のスコア状況とスコア分布

受検のスコア状況は以下のとおりである。

最高スコア	100点(満点)
最低スコア	0点
平均スコア	61.8点

答案提出数 3,577 件に対するスコア分布を図 3-2 に示す。

もっとも件数の多いのは 75-79 (482 件・13.5%) であり、次いで 80-84 (475 件・13.3%)、70-74 (458 件・12.8%) となっている。

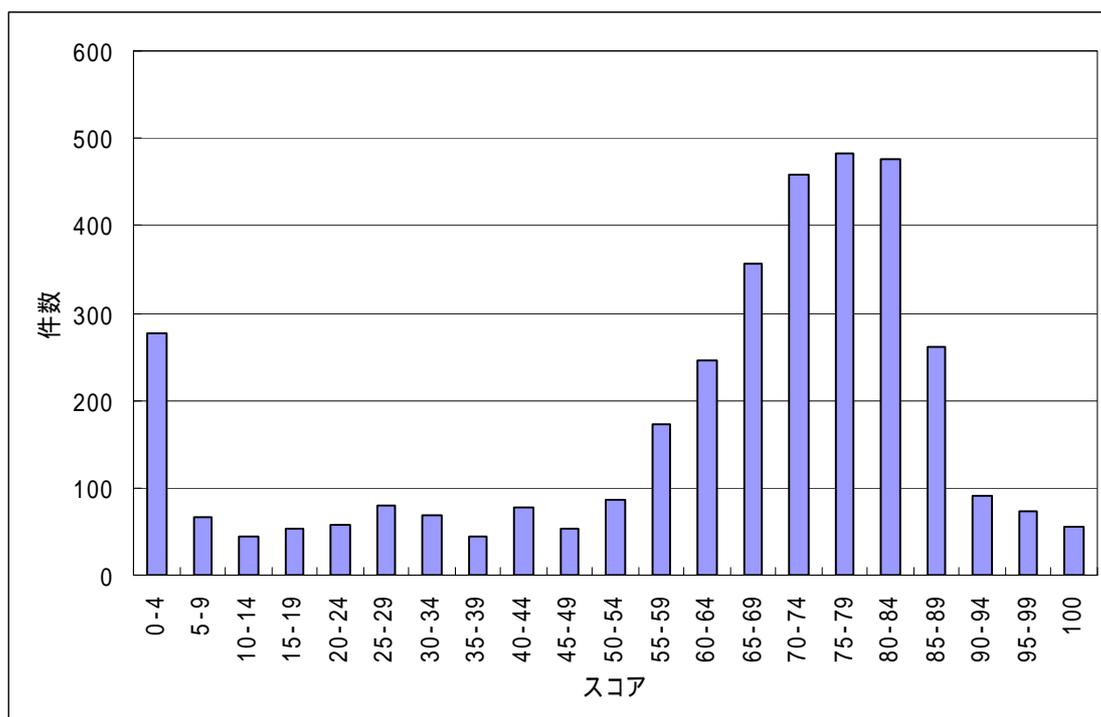


図 3-2 提出された答案のスコア分布

(3) 受検の解答所要時間

受検の解答所要平均時間(ひとつの受検IDが問題に最初にアクセスしてから答案を提出するまでの、中断時間も含んだ総解答時間)は以下のとおりである。なお、受検IDの有効時間は6時間である。

平均時間 1時間12分21秒

約9割(92.9%)が受検開始から3時間後までに解答を終えている。1時間以内の解答終了割合が53.6%、2時間以内の解答終了割合が85.3%であった。

もっとも件数の多い所要時間は40-50分(445件・12.4%)であり、次いで50-60分(439件・12.3%)および0-10分(346件・9.7%)、60-70分(328件・9.2%)となっている。

図3-3に、受検開始から6時間後までの解答所要時間分布を示す。

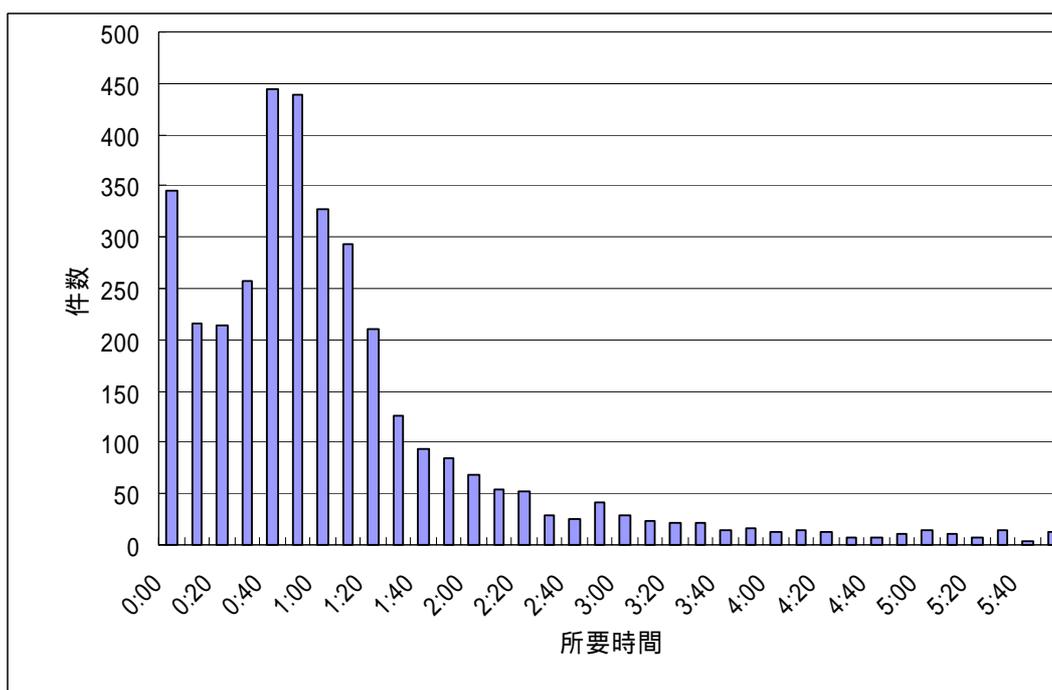


図3-3 受検の解答所要時間

(4) 受検申込みに用いられたメールアドレスのドメイン

受検申込みに用いられたメールアドレスの総数は 4,247 件であった。これらのアドレスをトップレベルドメイン別に分類した場合の、各ドメインの件数と比率(上位 7 件)を表 3-3 に示す。

表 3-3 トップレベルドメインの件数と比率(上位 5 件)

トップレベルドメイン名	件数	比率(%)
jp ドメイン	3,366 件	79.3%
com ドメイン	758 件	17.8%
net ドメイン	69 件	1.6%
to ドメイン	19 件	0.4%
cx ドメイン	10 件	0.2%

jp ドメイン内に限定して、受検メールアドレスをセカンドレベルドメイン別に分類した場合の、各ドメインの件数と比率を表 3-4 に示す。

表 3-4 jp ドメイン内のセカンドレベルドメインの件数と比率

セカンドレベルドメイン名	件数	比率(%)
co.jp	1,231 件	29.0%
ne.jp	1,178 件	27.7%
ac.jp	552 件	13.0%
jp *	169 件	4.0%
or.jp	131 件	3.1%
ed.jp	47 件	1.1%
go.jp	6 件	0.1%
lg.jp	5 件	0.1%
nifty.jp	5 件	0.1%

* miyagi.jp を含む地域型ドメイン等

受検メールアドレスの所属ドメイン名のトップ 10 を表 3-5 に示す。Yahoo や hotmail など無料で利用できるフリーメールからの受検が多いことがわかる。

表 3-5 受検者メールアドレス所属ドメイン トップ 10

所属ドメイン名	件数	比率 (%)
yahoo.co.jp	816 件	19.2%
hotmail.com	412 件	9.7%
shoin-u.ac.jp	106 件	2.5%
nifty.com	104 件	2.4%
ybb.ne.jp	95 件	2.2%
infoseek.jp	89 件	2.1%
hotmail.co.jp	89 件	2.1%
yuge.ac.jp	88 件	2.1%
mail.a.u-shizuoka-ken.ac.jp	84 件	2.0%
docomo.ne.jp	74 件	1.7%

3.2.2 スコアプロファイル

受検者のスコアの成績カテゴリごとの内訳を、表 3-6 に示す。

ビジネスカテゴリのスコアが、1,676 件 (46.9%) ともっとも多く、全体の約半数を占める。次いで、一般カテゴリが 861 件 (24.1%)、ビギナーカテゴリが 821 件 (23.0%) となっている。

エキスパートカテゴリのスコアは 219 件 (6.1%) ともっとも少なくなっている。エキスパートカテゴリのスコアのうち、100 スコアは 56 件 (1.6%) あり、エキスパートカテゴリのスコア獲得者の 4 人に 1 人は全問正解者ということになる。

表 3-6 受検者のスコアの成績カテゴリごとの内訳

スコア	成績カテゴリ	件数	比率
90 ~ 100	エキスパート	219 件	6.1%
70 ~ 89	ビジネス	1,676 件	46.9%
50 ~ 69	一般	861 件	24.1%
49 以下	ビギナー	821 件	23.0%

3.2.3 スコア認定証申込み

答案提出数 3,577 件に対する、スコア認定証申込数、および申込率は、以下のとおりである。

スコア認定証申込数	125 件
スコア認定証申込率	3.5%

スコア認定証は、スコア認定証発行手数料 3,150 円（内消費税 150 円）の払込み確認後、申込者に郵送された。実際に払込みを確認し、スコア認定証を送付したのは、96 件であった。

3.2.4 個別の設問への解答状況

(1) 設問分野別の正答率

各設問分野別の正答率を表 3-7 に示す。

表 3-7 設問分野別の正答率

正答率 (%)	設問分野
71.6%	基本事項
67.3%	ウェブページによる情報発信
66.3%	コミュニケーション
66.2%	電子メール
58.1%	基礎技術
55.5%	関連法規
50.5%	最新トピックス
48.7%	ウェブページによるサービスの利用

(2) 個別設問の高/低正答率

個別の設問への解答において、正答率の高い設問のトップ 10 を表 3-8 に示す。

表 3-8 高正答率の設問トップ 10

正答率 (%)	キーワード
93.9%	ウェブページへの写真の掲載(肖像権)
91.1%	ネズミ講メール
88.3%	文字主体のコミュニケーションで注意すること
88.2%	著作権
88.1%	ウェブページへの個人情報の掲載
88.0%	ウェブページへの写真の掲載(肖像権)
87.8%	記号の読み方(「:」「~」「/」「@」)
86.7%	インターネットを利用した馬券購入
86.4%	掲示板への個人情報の書込み
85.3%	不審なメールへの対処

一方、正答率の低い設問のワースト 10 を表 3-9 に示す。

表 3-9 低正答率の設問ワースト 10

正答率 (%)	キーワード
19.4%	歴史的な美術作品(レオナルド・ダビンチ)の Web 掲載
19.8%	クーリングオフ制度適用の可否
20.6%	インターネットを通じた医薬品の個人輸入
21.4%	電子保存された文書のメリット(e-文書法)
21.9%	歴史的な美術作品(クロード・モネ)の Web 掲載
25.8%	個人情報取扱事業者が遵守すべき義務
26.4%	オンラインマーク制度とは
26.6%	オンラインショッピングモールの運営者の責任
29.0%	デジタル万引き
29.4%	オンラインマークの意味

4 受検者アンケート

受検者に対して、Web 上で 17 項目（選択式 16 項目と自由記述 1 項目）からなるアンケートを実施した。以下に、集計結果を示す。

4.1 選択式項目への回答結果

アンケートの選択式 16 項目への回答結果の一覧を表 4-1 に示す。職業別にみると、受検者の主体は会社員がもっとも多く 33.3% (110 人)、続いて学生 19.4% (64 人)、パート・アルバイト 10.6% (35 人) となっている。年齢層別では、30 代がもっとも多く 32.1% (106 人)、続いて 20 歳代 25.2% (83 人)、40 代 20.0% (66 人)、20 代未満 10.9% (36 人) となっている。

表 4-1 アンケート選択式 16 項目への回答結果

ルール&マナー検定 2005 年「春夏」版アンケート結果		
	回答数	比率
総回答数	330	
Q1 ルール&マナー検定の受検は初めてですか？		
今回が初めて	291	88.2%
これまでも受検した	37	11.2%
無回答	2	0.6%
Q2 この検定を何で知りましたか？ (いくつでも)		
インターネット協会の Web ページ	72	21.8%
ニュースサイト(アサヒ・コム、毎日インタラクティブ、YOMIURI ON-LINE、NIKKEI NET など)	0	0.0%
その他の Web サイト	63	19.1%
メールマガジン	27	8.2%
検索エンジン	24	7.3%
新聞・雑誌	20	6.1%
友人・知人から	21	6.4%
職場で紹介された	14	4.2%
学校で紹介された	10	3.0%
その他	86	26.1%

ルール&マナー検定 2005年「春夏」版アンケート結果		
	回答数	比率
総回答数	330	
Q3 受検目的は何でしたか？(近いものを1つ)		
自己啓発	151	45.8%
資格取得	18	5.5%
好奇心	147	44.5%
その他	11	3.3%
無回答	3	0.9%
Q4 検定はあなたにとって有益でしたか？		
有益	252	76.4%
分からない	70	21.2%
無意味	5	1.5%
無回答	3	0.9%
Q5 受検の難易度はどうでしたか？		
難しい	173	52.4%
適当	148	44.8%
易しい	6	1.8%
無回答	3	0.9%
Q6 受検結果はどうでしたか？		
成績はエキスパート	22	6.7%
成績はビジネス	261	79.1%
成績は一般	43	13.0%
成績は初心者	2	0.6%
無回答	2	0.6%
Q7 スコア認定証を申し込まれましたか？		
申し込んだ	15	4.5%
申し込んでいない	311	94.2%
無回答	4	1.2%
Q8 受検の際のネットワークはどのようなものをお使いでしたか？		
常時接続	311	94.2%
ダイヤルアップ	17	5.2%
無回答	2	0.6%
Q9 受検の際に使われた e-mail アドレスはどれをお使いでしたか？		
プロバイダ	158	47.9%
職場・学校	49	14.8%
フリーメール	119	36.1%
無回答	4	1.2%

ルール＆マナー検定 2005年「春夏」版アンケート結果		
	回答数	比率
総回答数	330	
Q10 受検をされた場所はどこでしたか？		
自宅	245	74.2%
職場・学校	75	22.7%
その他	6	1.8%
無回答	4	1.2%
Q11 受検場所の都道府県名を教えてください。 回答比率が1%未満の都道府県のデータは掲載していません。		
北海道	8	2.4%
宮城県	8	2.4%
山形県	4	1.2%
福島県	4	1.2%
茨城県	8	2.4%
群馬県	4	1.2%
埼玉県	23	7.0%
千葉県	15	4.5%
東京都	78	23.6%
神奈川県	42	12.7%
新潟県	7	2.1%
長野県	7	2.1%
岐阜県	5	1.5%
静岡県	4	1.2%
愛知県	21	6.4%
京都府	8	2.4%
大阪府	18	5.5%
兵庫県	9	2.7%
広島県	11	3.3%
福岡県	8	2.4%
熊本県	4	1.2%
無回答	5	1.5%

ルール&マナー検定 2005年「春夏」版アンケート結果		
	回答数	比率
総回答数	330	
Q12 あなたの職業を教えてください。		
会社員	110	33.3%
公務員	9	2.7%
学生	64	19.4%
農林水産業	1	0.3%
商工自営業	11	3.3%
教育職	11	3.3%
専門職(弁護士など)	2	0.6%
自由業	8	2.4%
専業主婦	24	7.3%
パート・アルバイト	35	10.6%
無職	27	8.2%
その他	26	7.9%
無回答	2	0.6%
Q13 あなたの年令を教えてください。		
20歳未満	36	10.9%
20代	83	25.2%
30代	106	32.1%
40代	66	20.0%
50代	21	6.4%
60歳以上	13	3.9%
無回答	5	1.5%
Q14 あなたの性別を教えてください。		
男性	168	50.9%
女性	158	47.9%
無回答	4	1.2%
Q15 以下のうち、ご経験があるものがあれば教えてください。(いくつでも)		
ホームページの作成	218	66.1%
メールリストの管理	52	15.8%
電子掲示板の管理	113	34.2%
ECサイトの管理	8	2.4%
企業・学校等におけるシステム管理	51	15.5%
企業・学校等におけるIT推進リーダー/推進担当	35	10.6%
インターネット関連の授業・講習会・研修会での講師	35	10.6%
インターネット関連のヘルプデスク	20	6.1%

ルール&マナー検定 2005年「春夏」版アンケート結果		
	回答数	比率
総回答数	330	
Q16 本検定をより良いものにしていきたいと考えております。 充実してほしい内容はどのような分野ですか？(いくつでも)		
基本的知識	208	63.0%
電子メール	104	31.5%
コミュニケーション	117	35.5%
ウェブページによる情報発信	100	30.3%
ウェブページによるサービスの利用	129	39.1%
関連法規	151	45.8%
基礎技術	130	39.4%
最新トピックス	129	39.1%

4.2 自由記述欄への回答内容

アンケートの自由記述欄への回答のうち、主なものを以下に挙げる。

検定の感想

- 今回初めて受検しました。今まで経験だけでインターネットを利用していたため、受検したことで、いかに不勉強であったかを自覚しました。スコアはビジネスでしたが、慢心せずに勉強します。ありがとうございました。
- 受験無料、認定書有料という方式は良いです。受験有料、認定別途有料と言うよりは良い。データのアップデートが必要とは言え、通年受験できないのはちょっと残念。また、ネット上で受験できるという事は（趣旨にもふれてますが）、カンニングして満点を取る事も可能なわけで、それは、学習と言う意味では効果があっても、検定と言う意味で、意味を為すかが些か疑問です。合格点が90点以上と言う事で、実力だけで取るのはちと厳しいかも（カンニングすれば可能だけど）。とはいえ、再受験を促せるようなシステムは良いです。
- 自分がどの分野に疎いのか、一目で分かるので面白く、勉強になりました。
 - ・復習用に、各設問の答案（解説付き）が検定結果に着いてくると尚良かったと思います。
 - ・設問のどこに重点を置いて解答すれば良いのか、太字で強調されていてとても分かりやすかったのですが、それでも設問と選択肢の両方を見ても迷うものがありました。
- 非常に有益でした。インターネット上で受験できるというのが、なんとなく一歩を踏み出しにくい、通常の検定等と違って、自分を刺激するいい機会になると思いました。思った以上に内容もハイレベルであったと感じます。若い学生世代にももっと普及して欲しいと思う反面、受かることだけを目的とした利用者が増え、試験自体の価値が下がってしまいそうな懸念もあります。でも、楽しかったので是非知人には紹介したいと思います。これからも質のよい試験の提供をお願いいたします。
- 実にいい企画だと思います。無料でゲーム感覚でできることで、難しくても正しいルールや規則などに触れることができ、子供の教育や、大人でも知識を得るために大いに役立つと思います。
- 以前受験したときよりも最近のニュースなどにもなっていることについての問題が充実していて、とても勉強になりました。これから今以上にもっと勉強してしっかりとルールやマナーを理解している人になりたいです。
- インターネットで検索すればわかるだろうと思うことが大半でしたが、調べずに検定を受けました。また、時間制限が長すぎるように思います。啓発のために検定を受けるなら、かまわないのですが、認定証まで発行するならば、もっと厳しい検定でも良いように思います。

要望・提案など

- ビジネス用と家庭用とに分けて、検定試験用と基本マナー、ルール学習用にテストがあるといいなと思いました。あまり技術的な事はしらないので問題の意味すらわからないものもあったので。
- 知らない用語が出てきたとき、その意味を調べるには、その用語を検索すれば良いのですが、インターネットでの検索では、すぐに正しい意味のものにたどり着けるとは限りません。正しい知識を持ってもらうことを目的とするのであれば、この検定に使われている用語の辞典などを併設していただくと嬉しく思います。
- 学生なので、子供版の方も受けてみました。大人版は法的な問題等、中々理解しにくい問題もありました。間をとった学生版みたいなものも作ってほしいです。常識の無い小学生もたちが悪いですが、中途半端に常識を持った中高生もたちが悪いと思うので、そんな中高生にも理解しやすいような法的な問題や、コミュニケーションの問題を作ってほしいです。
- 100問という数は、決して少ない訳じゃありません。再検定の際、自分の弱かった部門のみの検定を受けられると良いかと思います。他に、解説なども、簡単にアクセス出来るようにして欲しいと思います。
- 法律についての問題など、普段家でインターネットを楽しむだけの私には少々難しかったり、問題の意味もなかなか理解できない問題が多かったように思います。大人版の中にビジネスや一般など自分の利用環境に合わせた検定が受けられるといいのではと思いました。
- “採点結果のページ”が不便だと思います。試験の結果を見るだけでは、“ルール&マナー”は身につかない。解説を見れるページが存在することはとてもよいが、その使いがってが悪いので100問あるすべてに目を通す人はいないのではないかと。もう少し利用者の事を考えた(利便性がある)サイトだと学習意欲・効果・効率が増すと思う。